

(様式—1) 新潟国道事務所 技術研究発表会 (令和4年度)

1	表題(課題)名	地域住民との良好なコミュニケーション	
2	工事(業務)名	紫竹山道路 紫竹山改良その4工事	
3	受注者名	株式会社 坂詰組	
4	工期	令和 4年 2月15日 ~ 令和 5年 1月25日	
5	担当技術者(立場)名	現場代理人	(やまぐち まさみ) 山口 正美
6	担当主任監督(調査)員	新潟・建設専門官	
7	課題区分名	⑨その他 (地域との良好なコミュニケーション)	
8	工事(業務)概要	栗ノ木バイパスのセパレート切替工事を施工した。	
9	【施工における 課題・問題点 等】		
	<p>当該工事は、栗ノ木バイパスのセパレート切替を行う工事であり、県道新潟新津線をバイパス下り線とするために、住宅の眼前で道路改良工事を昼夜問わず行う事から、騒音や振動による地域住民からの苦情が多発し、工事を円滑に進められなくなり、セパレート切替予定日に間に合わなくなることが懸念された。</p>		
10	【実施内容】		
	<p>上記の課題について、該当する自治会(東区紫竹2丁目、3丁目、4丁目、5丁目)に対し、下記の対応を行った。</p> <p>① 毎月、工事情報誌を回覧・掲示用に配布して、工事の予定や内容をお知らせした。</p> <p>② 工事が最盛期になる前に、各自治会役員に集まっていただき、詳細な作業予定(夜間作業も含めた)を説明して、理解を深めていただいた。 併せて、セパレート切替後の通行形態についても説明を行った。</p> <p>③ 主任監督員の協力のもと、新潟維持出張所の屋上をお借りして、現場見学会を開催し、工事の進捗状況とセパレート切替後の通行形態について説明を行った。</p> <p>④ 地域の困りごとに対し、主任監督員に報告したうえ、ボランティアで対応した。</p> <p style="margin-left: 40px;">地区外からくる車の抜け道となった生活道路に、注意喚起看板を設置。 住宅の排水不良を修繕(過年度工事の影響:本人談) 引き戸の建付け不良の修理(過年度工事の影響:本人談)</p>		
11	【実施結果】		
	<p>上記①~④の対応を行った結果、当該地区からの苦情をいただくことなく、工事を進められて、予定通りの期日に、セパレート切替を行うことができた。</p>		

(様式—2)

【実施内容等】

①工事情報誌の配布



②工事状況説明会の開催



③現場見学会の開催



④地域の困りごとへの対応

